

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 輸送・交通基礎調査業務仕様書

1 委託業務名

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会輸送・交通基礎調査業務

2 業務の目的

令和9年(2027年)に宮崎県で開催される第81回国民スポーツ大会(以下「国スポ」という。)
・第26回全国障害者スポーツ大会(以下「障スポ」という。)では、両大会合わせて、延べ約79万人の参加を見込んでいる。また、国スポの開会式では、1日で約26,000人の参加を想定している。

両大会期間中、参加選手・監督及び大会関係者、一般観覧者等を限られた時間内に安全かつ確実に目的地まで輸送するため、資料の収集や推計、現況調査、ルートの検討等の輸送・交通基礎調査を実施し、今後策定する輸送・交通に係る各種計画の基礎資料を得ることを目的とする。

3 業務の履行期間

契約締結の日から令和5年3月10日(金)までとする。

4 業務の対象区域

本業務に係る調査等の対象とする地域は、宮崎県内(以下「県内」という。)全域とする。ただし、先催国体での輸送実績把握及び近県の現況調査についてはこの限りではない。

5 通則

(1) 受託者(以下「乙」という。)は、本調査を実施するにあたり、第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会宮崎県準備委員会(以下「甲」という。)に業務実施計画書を提出し詳細に協議を行い、作業を進めるものとする。

また、本仕様書に記載のない事項及び疑義が生じた場合には、甲と協議をする。

(2) 乙は、本調査の趣旨を理解し、調査を進めること。

(3) 本業務の遂行にあたっては、別紙「第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会輸送・交通基本方針」に留意するものとし、別途必要な資料があれば、甲が確認の上、貸与するものとする。

6 業務内容

【調査業務の前提条件】

区分	想定される開催日時	会場	想定参加人数
国スポ 開会式	令和9年9月下旬～ 10月初旬の土曜日	(仮称) 新宮崎県陸上競技場 (都城市山之口町花木)	約26,000人
国スポ 閉会式	令和9年10月初旬～ 10月中旬の火曜日		約14,000人
障スポ 開会式	令和9年10月中旬～ 10月下旬の土曜日		約22,000人
障スポ 閉会式	令和9年10月中旬～ 10月下旬の月曜日		約18,000人

※参加想定人数は、先催3県(茨城県・福井県・愛媛県)の参加人数実績の平均値を基にした選手・監督、大会関係者、一般観覧者を含む想定人数。

(1) 全国輸送

- ① 先催国体（愛媛県・福井県・茨城県）・障スポ（岩手県・愛媛県・福井県）での輸送実績把握
先催国体・障スポ（各3県）での輸送実績を把握し、宮崎国スポ・障スポでの輸送対象者を推計する。
 - ア 大会参加者区分と全国輸送実績（日別来県者数）
 - イ 宮崎国スポ・障スポにおける全国輸送人数の推計
 - ウ 輸送集中日（ピーク）における人数の推計
- ② 公共交通機関現況調査
県外から県内への各公共交通機関の輸送力（経路、本数、利用者数、輸送可能人数等）の現況を調査する。
 - ア 鉄道の運行状況【大分方面・鹿児島方面】（運行本数、利用者数、定員、混雑率等）
 - イ 航空輸送の運行状況（宮崎・鹿児島の各空港及び空港から宮崎駅・都城駅・西都城駅への接続含む）
 - ウ 高速バスの運行状況（県内着高速バスの現況輸送力）

(2) 両大会の開・閉会式輸送

- ① 開・閉会式会場周辺道路の交通状況、公共交通機関サービスの既存資料収集・整理
 - ア 開・閉会式会場周辺の道路及び交通状況（車線数、幅員、交通量、混雑度等）
既存資料を基に、会場周辺の道路状況、渋滞状況、整備予定等を整理する。
 - イ 会場周辺の公共交通機関サービス及び高速道路 I C の状況の図示及び一覧
会場周辺の路線バス、J R 駅、高速道路 I C の状況を調査する。

調査対象	調査項目
新宮崎県陸上競技場及びその周辺に停車場を有する路線バス	時間別運行状況、運行ルート、利用者数、混雑率、バリアフリー対応の可否 等
J R 西都城駅、 J R 都城駅、 J R 山之口駅の現況	【施設状況】 ホーム数、ホーム滞留可能人数、バス・タクシー乗降場の設置状況、車椅子対応、点字案内、誘導ブロック等 【運行状況】 時間別運行状況、輸送可能人数、乗車率等
宮崎自動車道 都城 I C ・田野 I C ・ 山之口 S I C の交通状況	料金所数、時間別交通量、休日・平日別交通量、処理能力等

- ② 貸切バス・タクシーの県内保有状況及び九州各県（福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・鹿児島県）の貸切バス保有状況調査
県内の貸切バス、タクシー及び九州各県の貸切バス保有状況（ユニバーサルデザイン車両含む）を車種別、営業区域別に調査する。
 - ア 県内保有台数調査
 - ア) 貸切バス保有台数調査（車種別、低床バス・リフト付きバス含む）
 - イ) タクシー保有台数調査（車種別、営業区域別、福祉タクシー含む）
 - イ 九州各県（福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・鹿児島県）の貸切バス保有台数調査

③ 現地調査

会場周辺の臨時駐車場、バス乗降場候補地の現況を調査する。

- ア 臨時駐車場・バス乗降場候補地の現況

調査対象	調査項目
新宮崎県陸上競技場周辺（原則 2km 以内） 【徒歩圏内】	車種別収容台数、大型バス収容台数、会場までの所要時間、会場までの歩行者経路（歩行幅員、信号、バリアフリー状況等）、土地所有（管理者）、土地の状況、車両出入りにあたっての問題点、身障者スペースの台数 等

- イ パーク&バスライド駐車場・待機場候補地の現況

調査対象	調査項目
新宮崎県陸上競技場周辺（概ね 60 分以内） 【シャトルバス輸送出発地】	候補地の名称、所在地、面積、車種別収容台数、会場までの所要時間、土地所有（管理）者、土地の状況、大型バスの可否、出入りに関する問題点、（バリアフリー状況等） ※高速利用含む 60 分以内とする。

ウ 主要駅周辺のシャトルバス乗降場候補地の現況

調査対象	調査項目
JR 都城駅及び西都城駅の1km（徒歩15分）以内【駅シャトルバス出発地】	候補地の名称、所在地、面積、車種別収容台数、会場までの所要時間、会場までの歩行者経路（歩行幅員、信号、バリアフリー状況等）土地所有（管理）者、大型バスの可否、出入りに関する問題点

エ 会場内駐車場

※ 当準備委員会より資料提供

④ 車両確保及び駐車場確保等に係る課題と対応策の検討

①～③の調査結果を基に、現況での車両確保及び駐車場確保等における課題を抽出し、対応策を検討する。

※ 障スポ輸送業務に限定した車両確保等における課題の抽出及び対応策についても、可能な限り検討する。

⑤ 開・閉会式輸送計画（素案）の提案

④で抽出した課題への対応策に基づき、実態に即した「国スポ・障スポ開・閉会式輸送計画（素案）」を作成し、提案する。

ア 参加者区分（国スポ・障スポ）と輸送手段の想定

ア) 参加者の区分、輸送人数

イ) 参加者別の輸送上の特徴整理、輸送手段の設定

イ 輸送ルート of 想定と駐車場等の仮配置

（都城市内、宮崎市方面、えびの市・小林市方面、日南市方面、鹿児島県方面各ルート）

ア) 基本的な考え方

イ) 計画バス、シャトルバス等のルート設定

ウ) 駐車場利用計画（会場内・会場周辺）

エ) 駐車場、バス乗降場、主要駅等からの動線の検討

ウ 交通誘導・規制等の検討

ア) 開・閉会式当日における交通規制箇所の想定

イ) 駐車場、バス乗降場、主要駅等における交通誘導員の配置計画

7 協議、打合せ

業務における協議、打合せは、業務着手時、中間打合せ（3回）、成果品納入時、の計5回行うものとし、業務着手時及び完了時には、原則として管理責任者が立ち会うものとする。ただし、中間打合せは、甲と乙が協議の上、回数を変更できるものとする。

8 業務実施にあたっての留意事項

(1) 乙は、業務全般の管理監督及び県との連絡、調整を行う管理責任者を置くとともに、当該業務に関し十分な知識・経験を有する者をもって適切に業務を行うこと。

(2) 業務の実施にあたっては、本県の地域特性を十分に考慮した上で、今後の輸送交通対策の基礎資料となるよう具体性の高い内容となるよう配慮すること。

(3) 乙が本業務のために作成した各種資料等の著作権は、甲に帰属するものとする。なお、甲に組織改正等による変更があった場合には、著作権は変更後の組織に、組織の解散があった場合には宮崎県に帰属する。

(4) 他の個人・団体等の著作に係る文献や資料等を引用する場合は、乙において著作権者の了解を得た上で、引用した文献等の名称を明記すること。

(5) 乙は、業務の詳細及び当該業務の範囲について、甲と十分に打合せを行いながら業務を進めること。

(6) 乙は、本業務の実施に伴い必要な関係行政機関等への届出、許可の申請を行うこと。

(7) 乙は、業務の進捗状況に応じて、業務の区分毎に甲に随時報告を行い、その承認を受けなければならない。

(8) 乙は、必要に応じ、第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会宮崎県準備委員会輸送・交通専門委員会（以下「専門委員会」という。）へ出席し、本業務について報告・説明するものとする。なお、報告・説明内容等については、事前に甲と協議をするものとする。

また乙は、専門委員会での報告・説明資料を作成するとともに、専門委員会での意見及び対応策等については、原則報告書に反映させるものとする。

- (9) 業務完了後、乙の責めに帰すべき事由による成果品の不良箇所等が発見された場合は、速やかに訂正等の措置を行うものとし、これに要した費用は、すべて乙の負担とする。
- (10) 本業務に関する詳細については、乙決定後、甲と乙との間で締結する委託契約書において定めるものとする。

9 成果品の納入

本調査業務の成果品は、以下のとおり納入するものとする。

- (1) 調査報告書【本編】 A4判 (A3判折り込み可) 印刷製本5部
- (2) 調査報告書【概要版】 A4判 印刷製本30部
- (3) 上記(1)、(2)原稿・原図・各種データ 一式
ファイル形式：マイクロソフト社製 Word、Excel、PowerPoint 等により編集可能な形式
(最新のバージョンによる)
保存媒体：CD±R (RW)、DVD±R (RW)
- (4) 提出期限：令和5年3月10日(金)
- (5) 提出先：第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会
宮崎県準備委員会事務局 (宮崎県総合政策部国スポ・障スポ準備課内)